

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第8号 令和4年10月31日発行



本を読んで、心を豊かに

教頭 伊多波 渉



明日からもう11月。朝夕の冷え込みも厳しくなり、朝の気温が1桁台の日が珍しくなくなってきました。登校時は冷え込みが一番厳しい時間帯ですので、温かい服装で登校するようご家庭での声かけ・準備をお願いいたします。

これからの季節は、屋内で過ごす時間が多くなると思います。どうしてもテレビを見たり、ゲームをしたりする時間が多くなってくるとは思いませんか。そこで、読書をお勧めします。なにも、1日1時間も2時間も本を読んでくださいという意味ではありません。30分くらいでよいので、本を手にする時間を毎日作ってほしいのです。

読書をすることによって、視野が広がり、やりたいことがみつかったという話は、珍しいことではありません。様々な本にふれることによって新たな気づきが得られ、その積み重ねで将来の夢が定まるということがあるかもしれません。本を読むことで新たな情報や知識を得ると興味がわいてきます。いろいろなことに興味がわいてくると、それについて学びたいという意欲が生まれ、学ぶことで新しい知識がどんどん増えていきます。知識が増えることで今までよりも広い視野で物事を見ることができるようになり、自分への自信にもつながっていくと考えます。また、語彙が増え、表現力の向上にもつながります。今のうちに、本を読むことを通して心を豊かにし、将来への準備をしてほしいと思います。

そういう私自身、大人になってから子供の頃にたくさん本を読んでおけばよかったなと、今になって思うことがよくあります。読書に限ったことではありませんが、後で後悔しないよう山越小の子供たちには、今できること、やってみたいことにどんどんチャレンジしてほしいと思います。

開校149周年

11月1日(火)は山越小学校149回目の開校記念日です。明治6年(1873年)に開校、全国・道内を見回しても歴史と伝統のある学校です。来年度は150年という節目の年にあたり、PTAや同窓会などと連携して150周年記念事業を令和5年11月3日(金)に計画しています。今後、保護者の皆さんにも御協力していただくことがあるかと思えます。その際は、よろしく願いいたします。

11月行事予定

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1日(火) 開校記念日 | 16日(水) 5時間授業 |
| 2日(水) 5時間授業 | 移動図書 |
| 3日(木) 文化の日 | 22日(火) 渡島複式教育研究大会八雲大会 |
| 4日(金) 全校集会 | 3時間授業(給食なし) |
| 9日(水) 学芸会総練習 | 23日(水) 勤労感謝の日 |
| 5時間授業 | 25日(金) 児童会 |
| 11日(金) 4時間授業(給食あり) | 30日(水) 5時間授業 |
| 12日(土) 学芸会 | |
| 14日(月) 振替休業日 | |

稲刈り体験をしました（1・4年）

10月19日（水）に稲刈りをしました。6月に植えた苗が大きく成長していて、子供たちは、実った稲を見て「わ～！すごい！」と感動していました。農家の方に稲の刈り方を教えてもらった後、作業にはいりました。初めて鎌を使う子がほとんどでしたので、怪我をしないか心配していたのですが、安全に刈ったり、鎌を置いてから動いたりするなど、周りを見て考えながら行動する姿が素晴らしかったです。稲刈りが終わった後、疲れた様子でしたが「楽しかった！またやりたい！」と目を輝かせていました。初めての稲刈り体験で、多くのことを感じ取った様子でした。

お米ができるまでのことを田植えから稲刈りまで、体験を通して学ぶことができました。お米の大切さを知り、食べ物に感謝して残さずに食べてほしいと願っています。



国際理解の一步として（5・6年）

10月20日木曜日、後期からALTとして外国語の学習を担当して下さっているモルウェナ先生と、全校児童でハロウィンにちなんだ外国語の学習を行いました。外国語の挨拶を使ったゲームで楽しんだり、歌やジェスチャーを交えながら単語を学んだり、普段よりも多くのコミュニケーションを取ることができました。通常の学年ごとの授業では1対1になりがちですが、このように学んだことを複数の人相手に使うことができる機会も増やしていきたいと思えます。

言語や文化の違う相手に対して「知ろう・分ろう」という意識のきっかけになればと願うばかりです。



災害を学ぶ（特別支援学級）

近年の温暖化による影響から、北海道でも台風の通過など水害による被害が頻繁に起きつつあります。今年の夏に八雲町も川が氾濫し、多くの方が避難する事態となったことは記憶に新しく、自分たちの身近な場所でこのようなことが起こるとは信じられない気持ちでいっぱいです。

先日、視聴覚教材を使って「大雨がふったら」という学習を行いました。人形劇形式で登場人物たちがクイズも混じえながら水害の際の正しい行動について教えてくれます。子供たちは「雨が降ったら高いところへ逃げる」「雨が酷くなる前に避難を開始する」「逃げるときは脱げにくい靴で避難する」などの避難のルールについて劇を楽しみながら学んでいました。「そうなんだ、知らなかった！」というつぶやきも聞かれ、自分ごととして考えている様子が伝わってきました。

これからも子どもたちの興味を引く題材を取り入れつつ、交通ルールや防犯、自然災害等の教育に努めていきます。



おめでとうございます

24日（月）にやくも学ジュニア検定の表彰式が行われ、佐藤なゆたさん（6年）が「1級やくもマイスター」に認定されました。昨年に続く挑戦で、3級から1級に見事昇級することができました。がんばりましたね。

その他の各コンクールでの入賞者を紹介します。

<町読書感想文コンクール>（表彰式11月24日）

○最優秀賞 小学校中学年の部 小島 容雄くん

○優秀賞 小学校高学年の部 佐藤 なゆたさん

<社明作文コンテスト>

○特別賞 三浦 瑠乃さん 佐藤なゆたさん